

ACTION REPORT 2025

| CUCホスピス 活動レポート2025 |



看護と介護でよりそう家

ReHOPE

ホスピス型住宅の運営を軸に、がんや神経難病の方の療養を支えるサービスを提供しています。



ホスピス型住宅運営

がん末期や神経難病など医療依存度が高い方のための住宅型有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の運営を行っています。



訪問介護

介護職員がご入居者さまの居室を訪問し、入浴・排泄・食事などの介護、調理・洗濯・掃除などの家事を提供しております。自社または他社運営の施設に訪問介護事業所を併設することで、訪問看護事業所のスタッフと連携してサービスを提供しています。



訪問看護

医師の指示に基づき、医療的ケアを必要とするご入居者さまに訪問看護を行っています。自社または他社運営の施設に訪問看護事業所を設置することで365日の訪問が可能になり、ご入居者さまが安心して生活できる環境を整えています。



居宅介護および重度訪問介護

重度の肢体不自由のご入居者さまに、入浴、排泄および食事などの介護や調理・洗濯・掃除などの家事といった総合的なサービスを提供しています。

CONTENTS

- 04 MESSAGE 代表メッセージ
- 05 OVERVIEW 実績ハイライト
- 08 FEATURE ARTICLE 特集 | 希望を紡ぐケア
 - 09 Case01 細やかなアセスメントで叶えた「家族との時間」
 - 10 Case02 変化を受け止め、本人の楽しみを尊重するケアを届ける
 - 11 Case03 ご家族とワンチームでご入居者さまの希望を叶える
- 12 ReHOPEの日常スナップショット
- 14 会社情報
- 15 事業所一覧

本レポートの目的

本レポートは「『前を向いて生きる』を支える。」を使命に掲げ、がん末期や神経難病の方のためのホスピス型住宅や、施設居住者に向けた訪問看護・介護事業所を運営する株式会社シーユージー・ホスピスの一年間の取り組み実績と今後実現を目指す指標についてまとめたファクトブックです。

当社の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社グループの発行する株式及びその他有価証券の勧誘を構成するものではありません。本レポートでは過去と現在の事実のみならず、将来の見通しに関する記述が含まれています。そのため、一定のリスクや不確実性を内包しており、過度に依拠することのないようご注意ください。本レポートには、当社が事業を行っている市場に関する情報を含む、外部の情報源に由来し又はそれに基づく情報が記述されています。これらの記述は、本資料に引用されている外部の情報源から得られた統計又はその他の情報に基づいており、それらの情報について当社は独自に検証を行っておらず、その正確性又は完全性を保証することはできません。当社は、本レポートに含まれるいかなる情報についても、今後生じる事象に基づき更新や改訂の義務を負うものではありません。

※データの報告対象期間 2024年4月1日～2025年3月31日
(必要に応じて当期間の前後についても言及しています)

みなさまの信頼に応えるケアを、日本へ、世界へ広げていく

平素よりCUCホスピスおよびReHOPEの活動にご支援を賜り、誠にありがとうございます。私たちは「重い病や障害のある方が、安心して自分らしい時間を過ごせる場所を届けたい」という一心で、全国にホスピス型住宅の展開を進めてきました。本レポートを通し、私たちの理念と具体的な取り組みについてご報告いたします。

最多開設となった1年 ——支え合う力が形に

2024年度は、CUCホスピスにとって躍進の年となりました。過去最多となる10施設を開設し、合計2,021名の方々のお受け入れが可能になりました。開設にあたりご尽力いただいたみなさまには、心より御礼申し上げます。

全国展開を加速させる年度後半には、月に3施設を立ち上げる過密なスケジュールとなる時期もありました。しかし一日でも早く地域のみなさまに安心をお届けするため、経験豊富なスーパーバイザー(SV)や教育研修チームによるサポート体制を構築しました。開設準備段階からSVが施設運営の立ち上げを主導し、教育研修チームが理念の浸透から専門的な手技の指導までを担うことで、創業以来培ってきたノウハウを確実かつ迅速に新施設へ継承する仕組みを整えています。今後もこの体制を基盤に、より質の高い施設運営を目指します。

ケアの質を支える組織の三本柱。 コンプライアンス・専門性・現場力

私たちは、①コンプライアンスの徹底、②ケアの専門性向上、③現場力の強化の三本柱を組織運営の核に据えています。これは組織としての誠実さと専門性を常に高めていくという私たちの強い決意の表れです。

1. コンプライアンスの徹底

昨年ホスピス型住宅を運営する他社の不正請求に関する報道が相次ぎ、弊社にもご懸念の声が寄せられました。このような状況だからこそ、コンプライアンスの徹底が施設運営の基盤であるという姿勢に立ち返る必要があると考えています。ヒューマンエラーは起こりうるという前提に立ち、「エラーを未然に防ぎ、早期に是正する仕組み」と「人の教育」の両輪で、信頼される組織づくりに取り組んでいます。全施設で統一したチェックシートを使用し、そのうえで各施設の管理者・各エリアの責任者・本部の専門部署が定期的に監査を行う体制を構築し、適正な請求の実施を確認。さらに全管理者と全スタッフへの制度理解を深める研修も実施しています。今後は、監査体制の継続的な見直しを進めるとともにテクノロジーの活用を検討しています。

2. ケアの専門性向上

質の高いケアを提供するため、2023年度より専門的な資格・経験・知識を有する看護師による専門研修を開始しました。2024年度は、前年度から実施している「人工呼吸器」に加えて「緩和ケア」「認知症ケア」「難病ケア」などをテーマにした研修プログラムを新設。これにより、医療依存度が高く複雑な症状管理を必要とされる方々を受け入れられる体制を整えています。2025年度からは、医師とも密に連携してエビデンスに基づいたケア提供を実現するために看護過程(ケアプロセス)をブラッシュアップするプロジェクトを始動させました。

3. 現場力の強化

サービスの質を本質的に高めるのは、スタッフ一人ひとりの力です。私たちはスタッフ自らが課題を発見し、知恵と工夫により解決する力を「現場力」と定義しています。この力を磨くために、2024年度より業務改善アイデアを共有する「WeCanプロジェクト」を実施しています。同年度は「停電が

起きた際のフローの見直し」「リビングウィルのアップデートの方法」など369件の改善案が集まりました。さらに2025年度からは現場力に基づくチャレンジを称える表彰制度を導入しています。誰もが挑戦できる環境を整えるとともに、他拠点の優れた工夫を積極的に自施設に取り入れながら、組織全体で最良のケアを追求し続けます。

すべての人が「最期まで自分らしく」 いられる地域社会を目指して

CUCホスピスは、がんや難病と向き合う方が人生の最終章の選択肢を地域の中に広げていく存在でありたいと考えています。その過程で私たちが最も大切にしているのは、「寄り添う力」と「やりきる力」です。人生の最期を支える重責を担うからこそ、看護と介護の専門性を掛け合わせ、いかなる状況でもご入居者さまの安心と尊厳を守り抜きます。

今後も地域の医療・介護関係者のみなさまと連携させていただきながら、お一人おひとりの「自分らしい時間」を支えてまいります。



株式会社シーユーシー・ホスピス
代表取締役 兼 運営本部本部長

藪 康人

Profile: 大学病院で看護師として勤務しながら、経営学修士を取得。医療法人グループの経営戦略本部で部門責任者などを務めたのち、2018年に株式会社シーユーシーへ入社。医療機関の病院の立ち上げや事業譲渡、医療マネジメント職の人材育成を行い、2023年4月に株式会社シーユーシー・ホスピスへ出向。運営部長、執行役員 運営本部本部長を経て、2025年7月より代表取締役に就任。

OVERVIEW / 実績ハイライト

サービスの拡大

一人でも多くの方が住み慣れた地域で安心して療養生活を送れるように、拠点数の拡大に力を入れています。2024年度は創業以来最も多い10施設を開設いたしました。新規開設施設には経験豊富な看護師や介護職員が一定期間サポートにあたり、一日でも早く地域のみなさまに貢献できるよう支援をしております。

集計時期 ※1 2025年3月31日時点、※2 2024年4月1日～2025年3月31日の集計

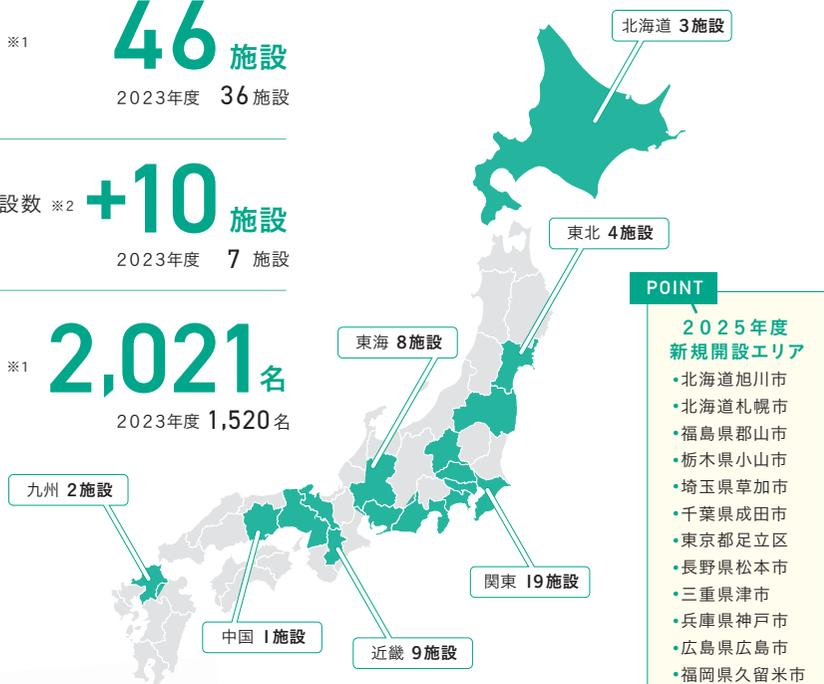


展開エリア・定員数

施設数 ※1 **46** 施設
2023年度 36 施設

新規開設数 ※2 **+10** 施設
2023年度 7 施設

定員数 ※1 **2,021** 名
2023年度 1,520 名



※2025年4月～2026年3月

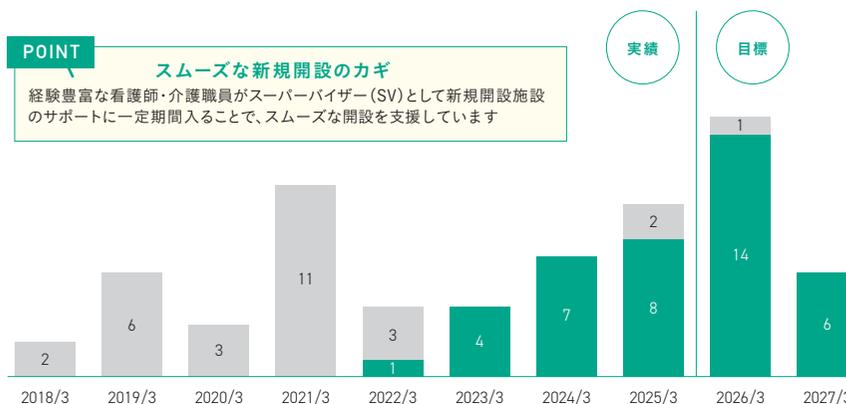
ホスピス施設数推移 ※1

■ 定員50名未満の施設及びM&Aにより取得した施設
■ 自社開設で定員50名以上の施設

POINT

スムーズな新規開設のカギ

経験豊富な看護師・介護職員がスーパーバイザー(SV)として新規開設施設のサポートに一定期間入ることで、スムーズな開設を支援しています



1. マクロ環境や規制動向など、本レポート発刊日時点において入手可能な情報に基づき、一定の仮定や前提の下で当社グループが設定した目標値であり、将来の目標数値の実現を保証するものではありません。2. 土地または建物の賃貸借契約が締結済みの案件を集計していますが、将来の目標数値の実現を保証するものではありません。

今後の開設方針

今後はグループ会社の株式会社ノアコンツェルと連携し、ご入居者さまのご状態やご希望に応じて適切なサービスを提供する「多機能併設モデル」を展開いたします。がんや神経難病など医療依存度が高い方向けの「ホスピスフロア」をノアコンツェルが運営する施設に併設し、医療依存度が高まっても住み慣れた場所で暮らし続けられる環境を整えてまいります。

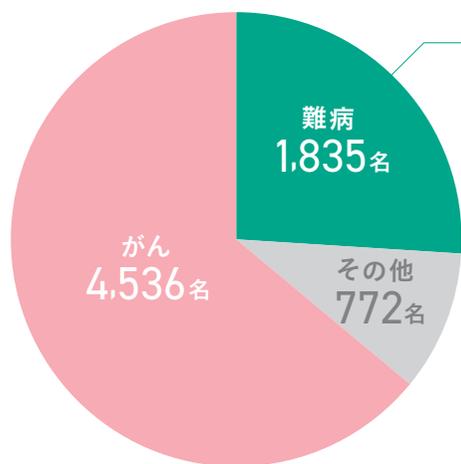
ご入居者さまのケア

当社では創業以来、「がんや神経難病など、他施設でのお受け入れが難しい方と向き合っていくこと」を大切に、一人でも多くの方をお迎えできるよう取り組んでまいりました。2024年度は1,948名の方を新たにお受け入れいたしました。今後もお一人おひとりのご状態やご希望と向き合い、最適なケアを行ってまいります。

集計時期 ※1 2025年3月31日時点、※2 2024年4月1日～2025年3月31日の集計



疾患別ご入居者さま数 ※2



難病の主な内訳

パーキンソン病関連疾患	880名
筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	415名
多系統萎縮症	200名
頸髄損傷	86名

※ほか脊髄小脳変性症、プリオン病、重症筋無力症、進行性筋ジストロフィー症、多発性硬化症など幅広い疾患を受け入れています

人工呼吸器を装着されている方 ※1 **104名**

受け入れ実績のある疾患・状態

症例数 **17** 症例
2023年度 17 症例

多発性硬化症	重症筋無力症
スモン	筋萎縮性側索硬化症 (ALS)
脊髄小脳変性症	ハンチントン病
進行性筋ジストロフィー症	パーキンソン病関連疾患
多系統萎縮症	プリオン病
脊髄性筋萎縮症	球脊髄性筋萎縮症
慢性炎症性脱髄性多発神経炎	後天性免疫不全症候群
頸髄損傷	末期の悪性腫瘍

人工呼吸器を使用している状態

※2017年3月3日の創業～2025年3月31日

要介護4・5のご入居者さまの割合 ※1

64.1%
2023年度 63.2%

お看取り数 ※2

1,344名
2023年度 1,134名

新規お受け入れ数 ※2

1,948名
2023年度 1,711名



OVERVIEW / 実績ハイライト

スタッフ採用・教育

人間性と専門性を兼ね備えたスタッフの採用と教育に力を注いでいます。
 2024年度は新たに1,059名の社員を迎え、各地で活躍中です。また、
 認定看護師などスキルの高いスタッフによる専門講座を拡充。「人工呼吸器」
 「緩和ケア」「介護ケア技術」などを学べる講座を開講し、ご入居者さまが
 安心して過ごせる場を整えています。

集計時期 ※1 2025年3月31日時点、※2 2024年4月1日～2025年3月31日の集計



スタッフ数 ※1

1,685名
 2023年度 1,222名



採用数(新卒・中途) ※2
 1,059名
 2023年度 663名
※契約社員、アルバイトを除く

平均年齢 ※1
 42.7歳
 2023年度 42.8歳

女性比率 ※1
 78.5%
 2023年度 78.5%

女性管理職比率 ※1
 56.8%
 2023年度 54.7%

認定看護師の数 ※1
 12名

スタッフの成長を支援し、ケアの質を高めるための研修

当社の研修は「入社時研修・基礎研修」「管理者向け研修」「専門職教育研修」で構成されています。これらの研修を通して、医療依存度が高い方へ質の高いケアを行うための知識や技術の取得、管理者として円滑な施設運営を行うスキル・人間性を身に付けます。



詳しくはこちらをご覧ください。

■ 質の高いケアを届けるための総研修時間
 20,214時間
 2023年度 15,622時間

■ 総研修回数
 166回
 2023年度 159回

[主な内訳]

入社時研修・基礎研修
 12,292時間
 2023年度 11,079時間

管理者向け研修
 2,056時間
 2023年度 1,460時間

コンプライアンスとリスクマネジメント研修
 2,845時間
 2023年度 2,180時間

専門職教育研修
 3,021時間
 2023年度 903時間

※2024年4月1日～2025年3月31日



※上記は当社で提供している研修の一部です。

希望を紡ぐケア

ReHOPEでは、創業以来17症例6,000名以上の方をお受け入れし、看護師・介護職員・セラピストが専門性を発揮して一人ひとりの希望を叶えてまいりました。今回の特集では、さまざまな疾患を抱える方の生活と希望をどのように支えてきたのか、3つの事例をもとにご紹介します。



受け入れ可能な疾患

※下記にない症状でも受け入れが可能な場合もございますので詳しくはお問い合わせください

- | 末期の悪性腫瘍(がん) | 多発性硬化症 | 重症筋無力症 | スモン | 筋萎縮性側索硬化症(ALS) |
- | 脊髄小脳変性症 | ハンチントン病 | 進行性筋ジストロフィー症 | プリオン病 |
- | パーキンソン病関連疾患 進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、及びパーキンソン病
(ホーエン・ヤールの重症度分類がステージ3以上であって生活機能障害度がII度又はIII度のもの) |
- | 多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群) | 亜急性硬化性全脳炎 |
- | ライソゾーム病 | 副腎白質ジストロフィー | 脊髄性筋萎縮症 | 球脊髄性筋萎縮症 | 慢性炎症性脱髄性多発神経炎 |
- | 後天性免疫不全症候群 | 頸髄損傷 | 人工呼吸器を使用している状態 | 気管カニューレを挿入しているかた |

対応可能な処置と疾患

※施設によって対応可能な医療処置が異なる場合がございます。

- | 麻薬管理 | 疼痛管理 | 神経ブロック | 人工呼吸器 | NPPV(バイパップなど) | TPPV |
- | 静脈点滴 | 皮下点滴 | 痰吸引 | 在宅酸素 | 気管切開 | 中心静脈栄養(ポート・カテーテル) |
- | 経管栄養(胃ろう・経鼻・腸ろう・経皮経食道胃管) | 血糖チェック | インスリン注射 | 人工肛門 |
- | 腎ろう | 膀胱ろう | 小腸ろう | 導尿 | 膀胱留置カテーテル | 膀胱洗浄 | 持続膀胱洗浄 |
- | 褥瘡処置 | 創傷処置 | ドレナージ | 腹水 | 胸水 | 腹膜透析 | 輸血 | 認知症 |
- | アルツハイマー病 | 感染症 | MRSA | C型肝炎 | B型肝炎 | 梅毒 | HIV | 結核(排菌なし) |

Case01 | Aさま (80代)

細やかなアセスメントで叶えた「家族との時間」



最後にご実家近くへお花見に出かけた際のAさま(写真左下)。妹さま、スタッフと共に。



疾患・状態 | 悪性リンパ腫

入居の背景 | 病院での治療終了後、一人暮らしでの生活に不安がありご入居。

訪問体制 |  訪問診療医  看護師  介護職員

さまざまな種類の酸素マスクを組み合わせ、自然な状態に近い呼吸を追求

多治見市出身のAさまは、抗がん剤治療の継続を希望されていたため、ADL(日常生活動作)の維持や向上を目的に「歩行・筋力訓練」を中心に行いました。時には施設の屋上まで足を運び、故郷の景色を見ながらAさまやご家族のお話を伺い、理解を深めました。抗がん剤治療を終えてからは食欲不振や呼吸困難感などが出現したため、在宅酸素療法や疼痛管理を中心に行いました。その際に重視したのは「**数値を過信せず、本人の状態を観察して最も快適な状態で過ごしていただくこと**」。在宅酸素療法では高濃度のマスクを使用してサチュレーションも

問題はなかったのですが、高濃度のものだと苦しさを感ずる方もいらっしゃいます。**鼻カニューレや開放型酸素マスクなどを組み合わせ「自然な状態に近い呼吸」ができるように努めました**。その甲斐もあり終末期を活発に過ごされたAさま。亡くなる1週間前には妹さま・スタッフとご実家の近くにお花見に出かけ、穏やかな笑みを浮かべていらっしゃいました。



ReHOPE 多治見
看護師 M.K

ご家族のコメント

「血圧が安定しているから出かけるなら今ですよ」とお声がけいただき、お花見に行きました。出かけられると思っていなかったのが驚きと嬉しさでいっぱいでした。他にも兄の好物のチャーハ

ンを兄妹で食べたり誕生日をお祝いしてもらったりと、病院では叶わなかったたくさんの思い出をReHOPEで作ることができました。

看護 | 在宅酸素、麻薬管理・疼痛管理、歩行訓練、筋力訓練 など

介護 | 入浴介助、食事提供・介助、生活援助(お部屋の清掃) など

Case02 | Bさま (70代)

変化を受け止め、本人の楽しみを尊重するケアを届ける



Bさま(写真左)と配偶者さま。筆談などを通してご家族とのコミュニケーションを図っています。



疾患・状態 | 筋萎縮性側索硬化症 (人工呼吸器を使用)

入居の背景 | 配偶者さま以外のご家族が海外在住のため、話し合いのうえご入居。

訪問体制 |  訪問診療医  看護師  介護職員  セラピスト

※介護職員は連携先住宅型有料老人ホームの職員。

「散髪」「家族との時間」 状態に応じた希望にケアで寄り添う

筋萎縮性側索硬化症(ALS)を患い、人工呼吸器を使用していたものの「車いすに座りたい」「髪を切りたい」というご希望をお持ちだったBさま。**車いすで姿勢保持するための訓練や人工呼吸器のセッティングを工夫して移動を可能**にし、散髪はもちろん、外に桜を見に行くこともできました。病状の進行により離床が難しくなってからは、お部屋の模様替えなどを行うことで日々の生活に変化を持たせています。現在のBさまの日々の楽しみは、ご家族との時間を大切にすること。筋力が弱まってもし思疎通ができる

ように適切な補助具を検討しているところです。**呼吸機能維持のための呼吸リハビリテーションや拘縮予防のマッサージなども積極的に**行い、少しでも長く快適な状態でご家族と過ごせるようにしています。進行性の難病は「今できること」が数か月後には難しくなることもあります。その時のご本人の状態やお望みを捉えてご希望に沿ったケアを届けてまいります。



西上尾ホスピスケアそよ風*
(看護クラーク西上尾)
看護師 Y.T

※西上尾ホスピスケアそよ風は株式会社SOYOKAZEが施設を運営する住宅型有料老人ホームです。
看護クラーク西上尾(訪問看護事業所)と連携しており、ご希望に応じて、サービスをご利用いただけます。

ご家族のコメント

安全性が担保できるうえ、見学时に施設の雰囲気やスタッフさんの対応に温かさを感じて入居を決めました。以前入院していた病院は面会制限が厳しかったのですが、今は24時間365

日の面会に加え、海外に住む家族ともテレビ電話で交流ができています。家族との時間を大切にできる自由度の高い環境は本人にとって安心だと思います。

看護 | 人工呼吸器の管理、排痰介助、痰吸引、服薬管理、経管栄養、摘便 など

リハビリ | ストレッチ、姿勢保持訓練、呼吸リハビリテーション など

※当社スタッフが提供しているサービス内容を記載。

Case03 | Cさま (70代)

ご家族とワンチームでご入居者さまの希望を叶える



Cさま(写真中央)とご家族。ご自宅で金婚式を行うことができました。



ご家族のコメント

夫の在宅介護に限界を感じていましたが、入居後はスタッフさんにケアをお任せでき、安心してます。皆さまの丁寧なケアを見て、私自身も必要なケアを学びたいと思い、指導をお願い

しました。今では私も一緒にケアをしたり、リハビリに同行したりしています。今後も夫と共にさまざまな楽しみを見つけていきたいです。

疾患・状態 | 多系統萎縮症

入居の背景 | 在宅介護を受けていたが、高度な医療的ケアが必要になりご入居。

訪問体制 | 訪問診療医 訪問歯科医 看護師 介護職員 セラピスト

全介助からの回復。 「ご自宅での金婚式」を楽しめるように

入居当初はADL(日常生活動作)が「全介助」だったCさま。嚥下障害のため胃ろうを増設されていましたが、「もう一度食事がしたい」と強く希望されました。想いに応えるため、私たちは**訪問歯科医による嚥下評価と口腔ケア、看護師による嚥下訓練を実施**。その甲斐あって、Cさまはうなぎやお粥など柔らかいものが食べられるようになりました。活力を取り戻したCさまは次第に外出を望むようになり、**歩行訓練を開始しました。当初は5m程度の歩行が限界でしたが、半年後には20m以上を歩けるように**。病気の影響で血圧の変動があるため、バ

イタルを細かくチェックし、問題がないときに訓練を重ねました。配偶者さまにも外出時の医療的ケアの指導を行い、準備を万端にしたことでCさまは念願だった「サッカーチームの試合観戦」や「ご自宅での金婚式への参加」を実現されました。今後もご希望を一つずつ叶えていけるよう、支援を続けてまいります。



ReHOPE 浦和美園
看護師 Y.N

看護 | 口腔ケア、家族指導、経管栄養、バイタルチェック、痰吸引 など

介護
リハビリ | 入浴介助、排泄介助、皮膚のケア、歩行訓練、嚥下訓練 など

ReHOPEの 日常スナップショット

自分らしく生きたいという想いに向き合い、
たくさんの“希望”をチーム一丸となって
叶えていきます。



葛飾柴又バスツアー

「もう一度外へ出かけたい」
というご入居者さまの声を受け、
バスツアーを実現しました。



散髪ですっきり

人工呼吸器のセッティングを工夫し、散髪が可能に！
ご満足の様です。



ドッグセラピーを初開催

(一財)国際セラピードッグ協会の協力のもと、
セラピードッグたちとの触れ合いが実現しました。



食欲の秋! 芋ほりレクリエーション

ご入居者さまに芋ほりを体験してもらおうと実施。
新聞紙で敷き詰められた箱の中からサツマイモを掘り出します。



念願のサッカー観戦

横浜FCさまにご招待いただき、
ご入居者さまと試合観戦!
主治医も同行して安全に楽しみました。



人工呼吸器をつけながら

積極的な離床を望むご入居者さま。
スタッフと三人六脚で歩行練習に励みます。



お花のお世話が日課に

園芸がお好きなご入居者さま。知識が豊富で
スタッフにもさまざまな方法を教えてくださいます。

ご自身で育てたお花で
押し花を楽しまれています。

CORPORATE PROFILE

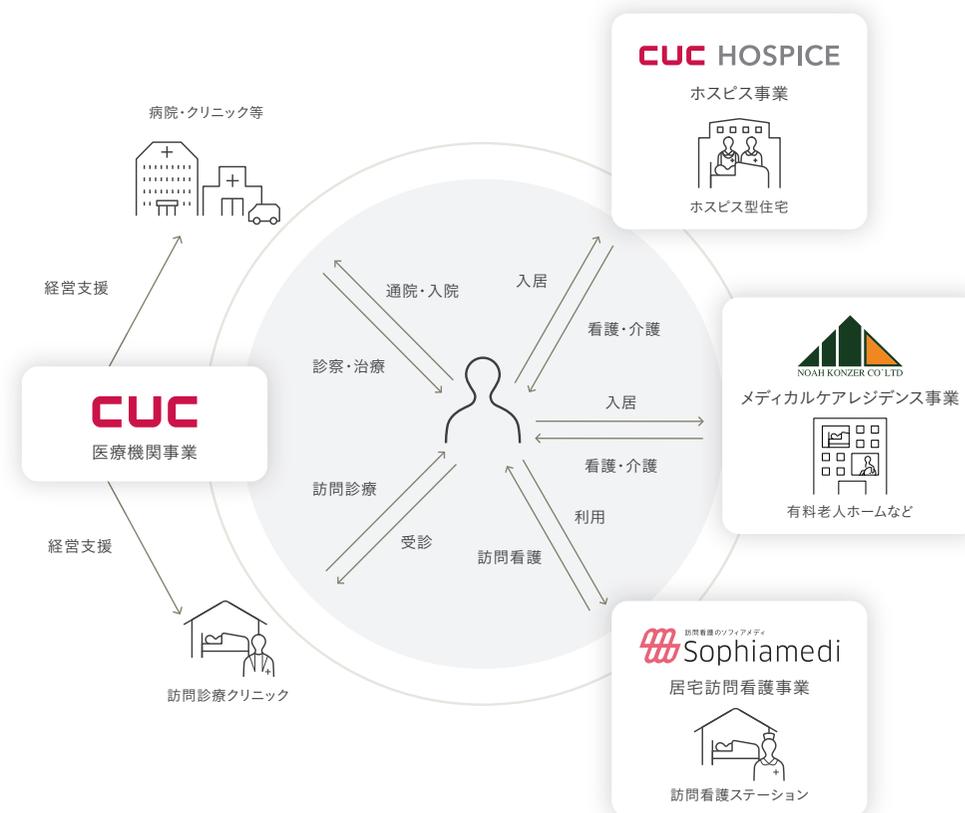
会社情報

社名	株式会社シーユーシー・ホスピス
設立	2017年3月
役員	代表取締役 藪 康人 取締役 田邊 隆通 取締役 松浦 俊雄
資本金	1億円(資本準備金含む)
事業内容	ホスピス型住宅施設の運営 訪問看護事業所運営 訪問介護事業所運営 居宅介護および重度訪問介護事業所運営
主要グループ会社	エムスリー株式会社 株式会社シーユーシー 株式会社シーユーシー・プロパティーズ 株式会社シーユーシー・フーズ ソフィアメディ株式会社 株式会社ネイチャー 株式会社ノアコンツェル その他シーユーシーグループ関連会社
所在地	東京都港区芝浦3丁目1-1 msb Tamachi 田町ステーションタワーN 15階

ABOUT CUC GROUP

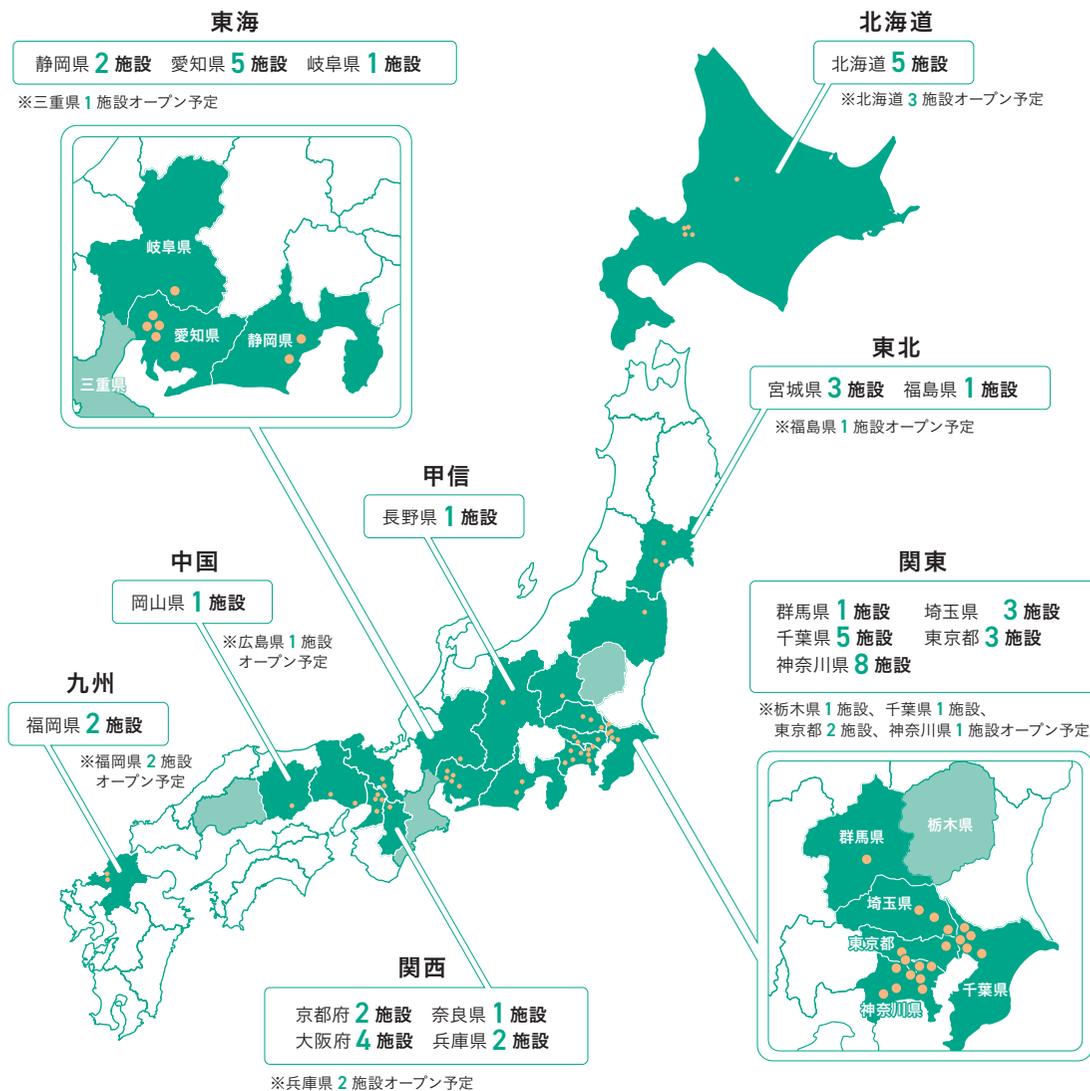
CUCグループのご紹介

CUCホスピスが属するCUCグループは、「医療という希望を創る。」をミッションに、医療課題の解決に取り組む企業グループです。支援先医療法人への経営支援をはじめ、訪問看護ステーションやホスピス型住宅、メディカルケアレジデンス等の運営を通じ、一人ひとりのニーズに切れ目なくお応えできるよう、体制を強化しています。



LOCATION

事業所一覧



北海道

- ・ReHOPE 札幌厚別
- ・ReHOPE 札幌北
- ・ReHOPE 札幌西
- ・ReHOPE 旭川神楽
- ・ノアガーデン アビックロエ(看護クラーク南平岸)
- ・ノアガーデン 旭ヶ丘アーバンクラス(看護クラーク南平岸) ※新施設
- ・ノアガーデン プルムビュー(看護クラーク南平岸) ※新施設
- ・ノアガーデン リブ・カシータ(看護クラーク南平岸) ※新施設

宮城県

- ・ReHOPE 仙台青葉
- ・ReHOPE 仙台若林
- ・ReHOPE 大崎古川

福島県

- ・ReHOPE 郡山
- ・ReHOPE 郡山朝日 ※新施設

群馬県

- ・ReHOPE 高崎

栃木県

- ・ReHOPE 小山 ※新施設

埼玉県

- ・ReHOPE 浦和美園
- ・西上尾ホスピスケアそよ風(看護クラーク西上尾)
- ・ReHOPE 草加松原

千葉県

- ・ReHOPE 柏南増尾
- ・グッドタイムホーム・新検見川(看護クラーク新検見川)
- ・ReHOPE 松戸
- ・ラブレ西船橋(看護クラーク西船橋)
- ・マガアス在宅ホスピス南柏(看護クラーク南柏)
- ・ReHOPE 成田 ※新施設

東京都

- ・ReHOPE 墨田
- ・ReHOPE 町田相原
- ・ReHOPE 南町田
- ・ReHOPE 足立 ※新施設
- ・東京都西東京市 ※新施設

神奈川県

- ・アシステッドナーシング輝の杜(看護クラーク横浜瀬谷)
- ・ReHOPE 伊勢原
- ・イリーゼささぬま・新館(看護クラーク鷺沼等)
- ・SOMPOケア ラヴィーレレジデンス橋本(看護クラーク橋本)
- ・ReHOPE 秦野
- ・ReHOPE 東戸塚
- ・ReHOPE 保土ヶ谷
- ・ReHOPE 武蔵中原
- ・神奈川県茅ヶ崎市 ※新施設

長野県

- ・ReHOPE 松本

静岡県

- ・ReHOPE 静岡葵
- ・ReHOPE 駿河西

愛知県

- ・ReHOPE 岡崎
- ・ReHOPE 新栄西館
- ・ReHOPE 新栄東館
- ・ReHOPE 星ヶ丘
- ・ReHOPE 大高

岐阜県

- ・ReHOPE 多治見

三重県

- ・ReHOPE 津 ※新施設

京都府

- ・ReHOPE 京都南
- ・ReHOPE 京都太秦

奈良県

- ・ReHOPE 奈良

大阪府

- ・ReHOPE 御殿山北館
- ・ReHOPE 御殿山南館
- ・ReHOPE 堺北
- ・ReHOPE 吹田

兵庫県

- ・ReHOPE 神戸
- ・ReHOPE 姫路
- ・ReHOPE 神戸垂水 ※新施設
- ・ReHOPE 尼崎 ※新施設

岡山県

- ・ReHOPE 岡山

広島県

- ・ReHOPE 広島 ※新施設

福岡県

- ・ReHOPE 博多筑紫
- ・ReHOPE 福岡東
- ・ReHOPE 久留米 ※新施設
- ・ReHOPE 八幡西 ※新施設



CUC HOSPICE

2025年10月1日発行

株式会社シーユーシー・ホスピス

〒108-0023

東京都港区芝浦3丁目1-1 msb Tamachi 田町ステーションタワーN 15F



ReHOPE
公式ホームページ



Webマガジン
「ReHOPEだより」で
最新情報を発信中!